

## 県立坂戸高校 «活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）»

課程	全日制	学科	普通科 外国語科	R5.5.1 生徒数	(男) 530 (女) 526	計 1056			
アクセス	東武東上線北坂戸駅下車 徒歩 13 分								
＜目指す学校像＞									
文武に秀で、地域に愛され、国際感覚を持つ社会のリーダーを育てる学校									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科と外国語科を併せ持つ特色ある学校。</li> <li>・45 分×7 時間授業による週 34 単位で、徹底した学力向上。</li> <li>・1 学年「数学Ⅰ」・「英語コミュニケーションⅠ」で標準単位数より 1 単位増加。</li> <li>・国公立大学（特に理系）志望者への十分な対応。2、3 年生文系では国公立大学受験に対応する数学 B・C を選択できます。</li> <li>・ALT 2 名常駐、外国語科は普通科の 1.3 倍の「英語」授業数に加え、第 2 外国語を学ぶ。</li> </ul>									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学問を愛し、真理を尊ぶ態度を養い、創造的な思考力と公正な判断力を持つ生徒。</li> <li>2 自主自立の精神を養い、誠実で責任感が強く、敬愛の念に富む生徒。</li> <li>3 豊かな人間性を養い、優れた感性を育み、個性の伸長と文化の創造に資する生徒。</li> <li>4 心身の鍛錬に努め、健康と体力の増進を図り、勤労愛好の精神を持つ生徒。</li> </ol>									
＜学校行事＞									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やなぎ祭(文化祭)や体育祭はクラスごとの T シャツなどを着用し、生徒主導で全力で臨みます。</li> <li>・オーストラリア海外研修、英作文・スピーチ・ディベートのコンテストへの参加、留学生との交流、イングリッシュ・セミナー、グローバルセミナー(外国語科行事) など国際理解の行事も盛りだくさん。</li> </ul>									
＜部活動＞									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・90%超の部活動加入率。</li> <li>・科学部、写真部、美術部は全国大会。空手道部は関東大会出場。</li> <li>・ギター部（クラシックギターオーケストラ）は、全国大会を目指して活動。</li> <li>・剣道部、卓球部、ソフトボール部、バスケットボール部、野球部、演劇部、ダンス部、書道部は県内公立高校の上位レベル。</li> </ul>									
＜家庭・地域との連携＞									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する小学校との相互交流事業（外国語科・ダンス部・野球部・美術部・写真部・イラストデザイン部・吹奏楽部・陸上競技部・剣道部、書道部・有志生徒等の交流）。</li> <li>・地域に愛され、文化祭では例年 4,700 名超の来校者（令和 4 年度は中学 3 年生とその保護者を対象に一般公開としました）。</li> </ul>									
進 路	R5.3 卒業生	四大	290人 <small>(延べ861人)</small>	短大	8人	専門	30人	就職	2人
	傾向	<p>大多数の生徒が四年制大学へ進学。留学する生徒も。「第 1 志望を堅持する」を基本方針とし、大学見学会、進路講演会（保護者対象の在学中 8 回予定の「子どもの進学を考える会」等を含む）、共通テスト対策、進学補講等を実施。推薦に頼らず、一般受験で最後まで努力する姿勢を育む。</p>							

【学校教育法施行規則第 103 条の 2】高等学校における三つの方針  
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）  
※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）  
※ 2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



【目指す学校像】 文武に秀で、地域に愛され、国際感覚を持つ社会のリーダーを育てる学校

- 【 重点目標 】
- 1 確かな学力の向上と高い志を育む教科指導とキャリア教育の充実
  - 2 コミュニケーション能力の育成を図る特別活動と部活動の充実
  - 3 開かれた魅力ある学校づくりの推進・発信の充実

## 「進路実現のためのステップ」

〈1年次〉

- ①自己と他己を知り、社会を知ることで学びの意欲を高める。
- ②職業理解を進め、自己の興味・適性を考えて夢を育む。

〈2年次〉

- ③上級学校で何を学ぶかを考え、学問について理解を深める。
- ④自己理解を深め、「進路志望宣言」による高い目標設定をする。

〈3年次〉

- ⑤「進路志望宣言」をした進路の実現に向けて、取り組むべきことを確実に実行する。
- ⑥最後まであきらめることなく挑戦し、高い目標を実現させる。

何ができるようになるか

何を学ぶか

どのように学ぶか



入学当初の学習オリエンテーション（1年生）。高校での学習方法を学ぶ



自習室も備備部活動のすきま時間を利用して両立を図る

●新たな価値を創造する力

自学自習

3つの学校文化

学校行事

部活動

●対立やジレンマを克服する力

●責任ある行動をとる力



やなぎ祭（文化祭）や体育祭での、他では経験できない一体感



18の運動部



14の文化部



### ◆「坂高スタイル」による学び

- ・予習・復習を前提とした45分×7時間の授業（週34単位）
- ・自習室の確保と時間管理の徹底
- ・実力テストの目標設定と分析（振り返り学習）
- ・学習内容における学びの最適化（講義型・A L型・ICT活用型）

### ◆確かな学力を培うための教育課程

- ・1学年「数学」・「英語」で標準プラス1単位増加
- ・2学年理系「数学」は習熟度別
- ・普通科2年次より文理選択
- ・国公立大学（特に理系）志願者への十分な対応

### ◆国際理解教育

- ・ALT 2名常駐
- ・オーストラリア海外研修、英作文・スピーチ・ディベート等のコンテストへの参加
- ・外国語科は普通科の1.3倍の「英語」授業時間を確保。2年次より第2外国語を選択

### ◆社会や将来へつなげるキャリア教育

- ・系統的な進路行事やキャリア教育の実施
- ・進学補講やガイダンスをとおして高い進路実現を図る
- ・異校種交流事業（部活動、英語・算数支援）を通じた社会性の向上
- ・保護者の進路勉強会「子どもの進学を考える会」による家庭との連携
- ・「総合的な探究」を通じて、課題解決力を育成



積極的な学び合い

オーストラリア研修  
とっても濃い2週間  
(令和5年度実施予定)